



第8回日本情報オリンピック(JOI2008-2009)表彰式

ブルガリア共和国駐日大使センドフ閣下ほかの方々のご来臨を賜り、株式会社NTTデータ 駒場研修センターイベントホール(東京都目黒区)で開催されました



JOI 2008-2009 ブロック別成績優秀者

ブロック制は、全国を6つの地域に分け、各地域の成績優秀者を表彰する制度です。

ブロック	氏名	学校名	学年	学校所在地
北海道・東北	名古屋 謙彦	岩手県立盛岡第一高等学校	2年	岩手県
関東	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	2年	東京都
	滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校	2年	東京都
	保坂 和宏	開成高等学校	2年	東京都
中部	加藤 俊幸	愛知県立一宮西高等学校	2年	愛知県
近畿	山下 洋史	灘高等学校	1年	兵庫県
中国・四国	野澤 昂叶	岡山県立岡山朝日高等学校	2年	岡山県
九州・沖縄	浦崎 裕己	熊本電波工業高等専門学校	2年	熊本県

同一ブロック内での並びは氏名の五十音順
学年は二〇〇九年三月現在



JOI 2008-2009 成績優秀者

本選参加者 50 名中の成績上位 16 名は、春の合宿に招待され、IOI 2009 ブルガリア大会の日本代表選手選抜試験に臨みました。



	氏名	学校名	学年	学校所在地
金賞	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
	滝聞 太基	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
	保坂 和宏	開成高等学校	高2	東京都
銀賞	山下 洋史	灘高等学校	高1	兵庫県
銅賞	村井 翔悟	開成中学校	中2	東京都
優秀賞	池滝 俊太	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
	今西 健介	八千代松陰中学校	中3	千葉県
	加藤 俊幸	愛知県立一宮西高等学校	高2	愛知県
	河田 智明	名古屋市立天白中学校	中3	愛知県
	岸本 祥吾	三木学園白陵高等学校	高2	兵庫県
	鈴木 良平	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
	中須賀 謙吾	筑波大学附属駒場高等学校	高2	東京都
	原 将己	筑波大学附属駒場中学校	中3	東京都
	平野 湧一郎	灘高等学校	高2	兵庫県
	平原 秀一	千葉県立東葛飾高等学校	高2	千葉県
	吉里 陸	筑波大学附属駒場中学校	中3	東京都

(同賞内での並びは氏名の五十音順。学年は 2009 年 3 月現在)



第8回日本情報オリンピック(JOI2008-2009)

参加者 400 名を超える！ 成績優秀者 16 名を表彰

第 8 回日本情報オリンピック (JOI 2008-2009) 表彰式は、3 月 24 日午後 2 時より株式会社 N T T データ駒場研修センター・イベントホールにおいて、御来賓、受賞者の保護者、情報オリンピック日本委員会関係者、JOI の OB など多数の方々の御臨席のもと開催されました。

はじめに、情報オリンピック日本委員会理事長の守屋悦朗・早稲田大学教授から御挨拶と JOI 2008-2009 の経過報告があり、続いて成績発表が行われました。

まず、ブロック別成績優秀者 8 名の表彰から始まり、優秀賞 11 名、銅賞 1 名、銀賞 1 名、金賞 3 名の順に呼ばれ、表彰状が授与されました (今年の金賞 3 人は満点でした)。ブロック別の成績優秀者には前・元 IOI 日本代表選手だった松元叡一君 (08 年エジプト)、奥田遼介君 (07 年クロアチア)、片岡俊基君 (06 年メキシコ・07 年クロアチア)、吉田雄紀君 (07 年クロアチア)、秋葉拓哉君 (06 年メキシコ)、今城健太郎君 (06 年メキシコ)、渡部正樹君 (06 年メキシコ)、伊藤哲史君 (94 年スウェーデン・95 年オランダ) からメダルが授与され、金/銀/銅賞の受賞者には独立行政法人科学技術振興機構理数学習支援部調査役の日紫喜豊様からメダルが授与されました。また、金賞受賞者の副島真君・滝間太基君・保坂和宏君とその在学学校 (筑波大学附属駒場高校・開成高校) には株式会社 N T T データ広報部長の本間洋様から優勝カップが授与されました。さらに、副賞として富士通株式会社経営執行役・藤田正美様 (JOI 理事) から、ノート PC 「FMV-BIBLO NW/C90D」が金賞の副島君・滝間君・保坂君に贈られました。銀賞の山下君には「FMV-BIBLO NF/C70R」が、銅賞の村井君には「FMV-BIBLO LOOX U/C40」が贈られました。続いて、社団法人情報処理学会から「若手奨励賞」が副会長の喜連川優・東京大学生産技術研究所教授から金/銀/銅賞の受賞者に授与されました。

次いで、文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課課長・川端和明様より受賞者および関係者一同への力強い励ましの御祝辞をいただきました。続いて、駐日ブルガリア大使の Blagovest Sendov 閣下から御祝辞をいただきました。センドフ閣下は、国際情報オリンピック (IOI) をユネスコに提唱し、第 1 回 IOI をブルガリアで開催した謂わば「IOI 生みの親」とも言える方です。

最後に、受賞者全員で記念撮影をして、表彰式を終えました。





理事長挨拶

皆様、こんにちは。情報オリンピック日本委員会の理事長を務めております守屋でございます。本日は、ご多忙のところ、第8回日本情報オリンピックの表彰式にご来臨を賜り、まことにありがとうございます。2005年に日本情報オリンピックを再開して今年度で4年目、第8回を数えるに至りましたのは、多くの個人、企業、学会、国の諸機関のご支援の賜物です。厚くお礼申し上げます。また、情報オリンピックを実施していく上で多大なご協力をいただきました、情報オリンピックOBの皆さんをはじめとする情報オリンピック日本委員会関係者の皆様、広報活動に全面的なご協力をいただいた株式会社電通様など、数多くの方々にも感謝申し上げます。

2008年度に実施した主な行事

- 4月 通信教育開始(～8月)
- 5月 APIO(第1回アジア太平洋情報オリンピック)
- 8月 国際大会派遣直前合宿研修
第20回国際情報オリンピック(エジプト)
夏季セミナー
- 9月 日本情報オリンピック2008/2009 募集開始
- 12月 予選
- 2月 本選・本選併催イベント
- 3月 春季トレーニング合宿(JOI日本代表選考会)

私たち情報オリンピック日本委員会は、国際情報オリンピックへ日本代表選手を派遣するというはもとより、このようなコンテストへ選手を派遣するという事業を通して、日本のそして世界の情報科学の振興と、日本の現在および将来にとって必要不可欠の、ITに基盤を置く諸産業の発展を担う若き人材育成に貢献したいと念じて活動しております。今後とも、関係諸氏の益々のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。



日本情報オリンピックの予選と本選は2008年12月14日、2009年2月7・8日にそれぞれ実施され、3月19日から25日までの1週間行われる、国際大会代表選手の選考を兼ねた春季合宿に参加している16名が選抜されました。今年の予選の応募者は昨年より100名ほど増え466名に達しました。

この合宿で行われた4回の競技の結果に基づき、この表彰式のあとで行われる日本代表発表会で4名の日本代表選手が発表され、8月8日から15日までブルガリアのプロフディフ(Plovdiv)で行われる第21回国際情報オリンピックに参加します。



御来賓 御祝辞(文部科学省)

文部科学省から、科学技術・学術政策局基盤政策課課長の川端和明様の御来臨を賜り、御祝辞をいただきました。

川端様には、科学オリンピックを盛り上げるために文部科学省が力強く御支援くださっていること、また、情報オリンピックに参加する生徒たちが、情報科学の知識をもとに、将来様々な分野で活躍し、科学技術創造立国日本の将来を担ってくれることへの熱い期待を語っていただきました。



川端様



御来賓 御祝辞(駐日ブルガリア大使)

ブルガリア共和国駐日大使の Blagovest Sendov (センドフ) 閣下の御祝辞は、「みなさん、こんにちは」という日本語で始まりました。閣下は、40 年間にわたって数学を研究してこられた学者でいらっしゃいますが、今から 20 年も前に、情報科学を教育に加えることの重要性をいち早く認識され、1988 年に、中学生、高校生が参加できる国際情報オリンピックを開催すべきであるとユネスコに提案され、それは翌年の 1989 年に第 1 回の国際情報オリンピックとしてブルガリアで開催するに至ったこと、また、今年再びブルガリアで国際情報オリンピックが開催されることになったこと、この 2 つが今日ここに招待された理由であろうと述べられ、今年の IOI ブルガリア大会には閣下御自身も参与しておられるので、日本から参加する代表選手たちもぜひ頑張ってもらいたいとの激励の御言葉を賜りました。

御祝辞の通訳は、ブルガリア大使館のダニエラ・ニコロヴァ様にいただきました。ニコロヴァ様には、表彰式後の記念講演につづいて、ビデオを上映しながらブルガリアの文化についても紹介していただきました。



センドフ閣下



ビデオによるブルガリア文化の紹介



記念講演

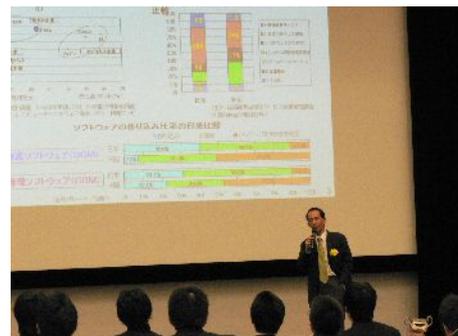
表彰式につづいて午後 3 時 20 分から、東京大学生産技術研究所教授・喜連川優先生に『情報爆発』と題して講演していただきました。

講演要旨 『今世紀に入って情報分野をとりまく動きの中で一つの大きな特徴的な現象として 情報爆発を取り上げることが出来る。2010 年には人類の創出する情報量は1ゼタバイトにも達する。

情報爆発(information explosion)は、情報に溺れるという負の側面が強調されがちであるが、爆発する情報がイネーブラとなる新しい世界も広がりつつある。膨大な情報を如何に料理し、御馳走を創り出すかはまさにIT屋の腕の見せ所でもある。社会を可観測とする情報技術が目指す PL@NET について紹介する。』



喜連川先生には、情報処理学会副会長として、『情報処理学会 若手奨励賞』を金・銀・銅賞受賞者たちに授与していただきました





第 21 回国際情報オリンピック

ブルガリア大会日本代表選手発表会

午後5時から、今年度初の試みとして、国際情報オリンピック日本代表選手の発表会を行いました。前日までに
行われた4回の競技(1回目3時間3問300点、2回目4時間3問300点、3回目4時間3問300点、
4回目5時間3問300点、計1200点満点)の成績の上位4名が、8月8日から15日までブルガリアのプロ
フディフ市で開催される第21回国際情報オリンピック日本代表選手として選ばれました。

はじめに、科学委員会委員長の谷聖一・日本大学教授(JOI理事)から選考経過の報告があった後、司会者
から代表に選ばれた4名一人ひとりの氏名が発表されました。つづいて、結団式に移り、まず、理事長から谷団
長に団旗として日章旗が渡されました。次いで、株式会社NTTデータ常務執行役員・山田伸一様(JOI理
事)からは、選手達に記念品としてブレザーが贈られ、また力強い激励の辞を頂戴しました。最後に、谷
団長および選手たち一人ひとりがIOIでの活躍を誓う決意表明をしました。

マスコミからも多数の記者が取材に訪れ、閉会後の質疑応答とフォトセッションは、笑顔が溢れる中、和
やかに行われました。



山田様 激励の辞

団長	谷 聖一	JOI 理事 日本大学・教授
副団長	伊藤 哲史	JOI OB 京都大学大学院・助教 1994年 IOI スウェーデン大会 銀メダル 1995年 IOI オランダ大会 金メダル
選手 (五十音順)	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校 2年 2008年 IOI エジプト大会 銀メダル
	滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校 2年 2008年 IOI エジプト大会 銅メダル
	平野 湧一郎	灘高等学校 2年
	保坂 和宏	開成高等学校 2年 2008年 IOI エジプト大会 金メダル



選手達と谷団長



(左から) 副島君、滝間君、平野君、保坂君



春季トレーニング合宿

表彰式に先立つ3月19日から25日までの一週間、IOI
ブルガリア大会日本代表選手候補として本選で選ばれた
16名は、NTT データ駒場研修センター(東京都目黒区)と
国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
において春季トレーニング合宿を行い、連日、午前中は競
技、午後は講義・演習、夜は問題解説・講評というハードな
スケジュールをこなし、24日の代表発表会に臨みました。



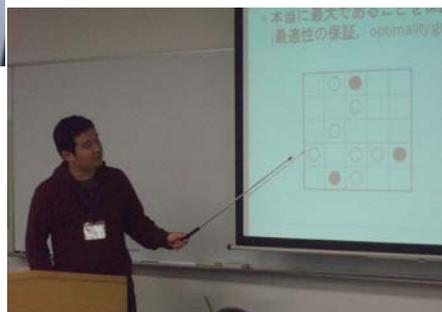
泉祐介 先生（東工大大学院） ↓→



↑ 原正雄 先生（東海大）



← 岡本吉央 先生（東工大大学院） →



第8回 JOI 予選、本選・本選併催イベント

チューターたち

第8回日本情報オリンピックの予選は、2008年12月14日(日)にウェブ上オンラインで3時間の競技が実施されました。つづいて本選は、2009年2月7日(日)午前10時から午後2時までの4時間、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)に、予選合格者50名を集めて行われました。参加者全員が同じPCを使って、5問の問題を解くためにプログラムを作って競いました。また、本選前日の2月7日にはプラクティス(実機練習)と講演会および懇親会が行われ、8日の本選競技終了後には問題解説会が行われました。本選の成績優秀者16名が合宿(3/19~3/25)へ招待されました。

2月8日には、本選の競技と並行して、参加生徒の在学校の先生方とJOI事務局の懇談会が行われ、(株)NTTデータ・後藤章宏様にはJOIへの協賛について、中京大学・青木公也先生、沖縄高専・正木忠勝先生、和歌山県立紀北工業高校・北山浩司先生にはそれぞれの学校における情報オリンピックへの取り組みについて紹介をしていただきました。



本選競技中



問題解説会



講演 原田季栄氏 (NTT データ技術開発本部)

『Linux OS における標準化の実際 (TOMOYO Linux 開発の現場から)』



<http://manabinpick.mext.go.jp/index2.asp>

第8回日本情報オリンピック (JOI2008-2009) は文部科学省の平成20年度「学びんピック認定大会」です。

← JOI本選 (オリンピックセンター)



第9回日本情報オリンピック開催予定

第22回国際情報オリンピックは2010年(時期未定)にカナダで開催される予定です。日本代表選手候補を選抜する第9回日本情報オリンピックは以下のように開催されます。本選の成績上位者にはメダルと副賞が授与され、春季トレーニング合宿に招待されて選手選抜テストに参加できます。全国を6ブロックに分け、ブロックごとの成績優秀者も表彰します。成績優秀者には多数の大学における入試に関する特典や、夏季セミナーやアジア太平洋情報オリンピックへの優先参加、等の特典があります(詳細は情報オリンピック日本委員会のウェブサイトをご覧ください)ので、奮って応募してください。

応募資格 : 次の2つの条件を満たす者:

- ・2010年2月の日本情報オリンピック開催日の時点で、高等学校相当またはそれ以下の学校に在学し、学年が高等学校2年以下(中等教育学校や高等専門学校などの在學生は高等学校2年に相当する学年以下)であること。
- ・生年月日が1990年4月2日以降であること。

予選 : 2009年12月13日(日)にウェブ上オンラインで実施する予定です。ウェブから申し込みができ、学校のPC教室や自宅等において参加できます。

本選 : 2010年2月中旬の(土)(日)に東京会場で実施します。参加者には交通費を支給します。予選合格者だけが参加できます。本選と併催して受験者交流セミナー等を開催します(自由参加)。

競技内容 : 与えられた問題を解くために、プログラムを書き、実行して正しい答を出力させます。高校生レベルまでの数学とプログラミングの知識が必要です。予選ではプログラミング言語の種類を問いませんが、本選ではC/C++ と Java だけが使えます。

参加料 : 無料です。

申込方法 : 9月1日(予定)から情報オリンピック日本委員会のウェブサイト <http://www.ioi-jp.org/> で受付を開始する予定です。

結果発表 : 予選・本選それぞれの終了後、本人に電子メールで通知します。

特典 : 成績優秀者には以下の特典があります:

- (1) 本選の成績優秀者にはメダルや副賞が授与されます(2008年度には上位5名にノートPCが授与されました)。
- (2) 早稲田大学理工系3学部の情報オリンピック特選入試受験資格 … 本選 A ランク者
- (3) 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 AO 入試1次選考免除 … 本選 A ランク者
- (4) その他多数の大学で入試の特典があります。



協賛



株式会社NTTデータ



富士通株式会社



情報オリンピック 通信

No.7 2009年4月1日発行

編集・発行

(NPO 法人)情報オリンピック日本委員会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 7-26-37-2D
TEL: 03-5272-9794 (FAX: 03-5272-9791)

E-mail: info@ioi-jp.org

<http://www.ioi-jp.org/>